

既設試験研究用原子炉施設の
耐震安全性評価実施計画書の補正について

平成21年4月24日

独立行政法人日本原子力研究開発機構

目 次

1.	概要	1
2.	実施状況	1
3.	見直し工程	1

1. 概要

平成 18 年 9 月 19 日付けで原子力安全委員会により「発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針」等の耐震安全性に係る安全審査指針類（以下「耐震指針」という。）が改訂された。これに伴い、文部科学省は当機構に対し、「「発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針」の改訂に伴う既設試験研究用原子炉施設の耐震安全性の評価の実施について」（18 文科科第 728 号平成 18 年 12 月 21 日）に基づき、当機構の所有する既設試験研究用原子炉施設について、改訂された耐震指針（以下「新耐震指針」という。）に照らした耐震安全性の評価を実施するよう指示した。これを受け当機構は、JRR-3 原子炉施設、STACY（定常臨界実験装置）施設、TRACY（過渡臨界実験装置）施設、高速実験炉原子炉施設及び HTTR（高温工学試験研究炉）原子炉施設の耐震安全性評価実施計画書を平成 19 年 3 月 28 日に、JRR-4 原子炉施設及び JMTR 原子炉施設の耐震安全性評価実施計画書を平成 19 年 7 月 4 日に文部科学省に提出した。

その後、平成 19 年 7 月 16 日に発生した新潟県中越沖地震から得られる新たな知見を活かし耐震安全性の確保に万全を期するため、耐震安全性評価実施計画書に記載した地質・地盤調査の期間等を見直し、平成 20 年 2 月 21 日に補正した。

さらに、最新の知見を適切に反映するとの観点から、地質・地盤の調査を実施するとともに基準地震動の検討を実施してきたが、新たに陸域の追加調査が必要となったことから、耐震安全性評価実施計画書の見直しを行った。

2. 実施状況

地質・地盤調査について、新耐震指針を踏まえた敷地内及び敷地近傍における地質・地盤調査を実施してきた。

平成 19 年新潟県中越沖地震を踏まえ、海域の地質調査として、更なるデータ拡充の観点から、海上音波探査を実施した。さらに、調査結果の解析・評価により、陸域の追加調査を実施し、最終的な解析・評価を進めているところである。

これらの解析・評価を踏まえた検討及び平成 19 年新潟県中越沖地震の最新知見を必要に応じて反映させながら基準地震動の策定を進め、各原子炉施設の耐震安全性評価を実施する。

3. 見直し工程

既設試験研究用原子炉施設の耐震安全性評価の実施工程を表 1 に示す。

地質・地盤調査については、追加調査を含め平成 21 年 3 月までに主要な調査を終了した。

また、耐震安全性の評価については、海上音波探査の結果等を反映した上で、JRR-3 原子炉施設、STACY (定常臨界実験装置) 施設、TRACY (過渡臨界実験装置) 施設及び JRR-4 原子炉施設 (以下「原子力科学研究所施設」という。) においては平成 21 年 9 月までに、高速実験炉原子炉施設、HTTR (高温工学試験研究炉) 原子炉施設及び JMTR 原子炉施設 (以下「大洗研究開発センター施設」という。) においては平成 22 年 3 月までに実施することとしていたが、陸域の追加調査が生じたこと及び解析・評価結果を踏まえての基準地震動策定に時間を要することから、原子力科学研究所施設においては平成 22 年 12 月までに、大洗研究開発センター施設においては平成 23 年 3 月までに実施することとする。

耐震安全性の評価に当たっては、平成 19 年新潟県中越沖地震等から得られる最新の知見及び反映事項を、必要に応じて適切に反映する。

この工程は評価の進捗によって変更する場合がある。

以上

表1 耐震安全性評価実施工程（予定）

実施項目		工 程				
		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
JRR-3 STACY TRACY JRR-4	地質・地盤調査	平成18年9月 -----	-----	-----	平成21年3月	
	耐震安全性評価		-----	-----	-----	平成22年12月
高速実験 炉 HTTR JMTR	地質・地盤調査		-----	-----	平成21年3月	
	耐震安全性評価		-----	-----	-----	平成23年3月